

9月9日、郡山市の開成山球場において、「第17回市町村対抗福島県軟式野球大会」が開催されました。双葉町チームは、初戦で南会津町チームと対戦しましたが惜しくも敗れてしまいました。前日までの台風の影響が懸念されましたが、避難先から選手たちが集まり、大きな声を掛け合い、精一杯プレーされている姿にスタンドからもたくさんの声援と拍手が送られていました。

9月15日、いわき市植田町の八幡台「やまたまや」において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催を休止しておりました「双葉町敬老会」を4年ぶりに開催し、県内外から約130名の方々に参加いただきました。式典では4組の金婚夫婦に福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。

式典後には、行政区ごとにテーブルに分かれて昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。また、アトラクションでは、双葉町大字新山出身の大川義秋さんによる琴の演奏ステージが披露され、出席された皆さんは、幻想的な琴の音色に目を閉じて聴き入っていました。

9月21日、土屋品子復興大臣が高木宏壽副大臣、平木大作副大臣とともに就任あいさつのため来町され、また、10月1日にはJR双葉駅西側の町営住宅や鴻草・三字行政区などの帰還困難区域を視察されました。町からは、残る帰還困難区域の避難指示解除を実現するため、特定帰還居住区域のインフラ整備に必要な支援や第二期復興・創生期間以降の財政支援など十分かつきめ細やかな支援を強く要望しました。

9月29日、今年6月に福島復興再生特別措置法が改正されたことに伴い、特定復興再生拠点区域外に帰還意向のある住民が帰還できるよう、「双葉町特定帰還居住区域復興再生計画」について、内閣総理大臣の認定を受けました。今回の計画では、残る帰還困難区域の他の地域に先駆けて先行除染を行う地区として下長塚行政区、三字行政区の一部を対象としており、当該区域における速やかな除染、家屋解体を始め、上下水道等のインフラ復旧など、1日も早い避難指示解除に向けて取り組んでまいります。

9月30日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生広場において、「ふたばスポーツフェスティバル2023」が4年ぶりに開催されました。震災後初となる町内での開催に、避難先から参加された町民や、町内へ移住された町民など約130名

が参加し、全員で体を動かし、スポーツを通じた交流を深めることができました。今回のスポーツフェスティバル開催にあたって、ご尽力頂いた双葉町スポーツ推進委員を中心とした「絆スポレクふたば実行委員会」の皆さんに改めて感謝申し上げます。

10月1日、双葉町産業交流センターにおいて、開館3周年記念イベント「双葉町ストリートパフォーマンスフェス」が行われ、ステージでは全国からパフォーマーが集結し大道芸や音楽・ダンスなどが行われたほか、町内外の事業者による物販や飲食店の出店もあり終日賑わいを見せていました。

10月7日、双葉郡8町村の芸能や物産が楽しめるイベント「ふたばワールド2023 in大熊」が大熊町において開催されました。会場では、町内事業者の方たちも出店した郡内の物販・飲食のコーナー「ふたばふるさとマルシェ」や「大鍋のふるまい」などのブースが設けられ、また特設ステージにおいては各町村の芸能発表などが行われ、双葉町からは「標葉せんだん太鼓保存会」、「JAふたばスマイル大正琴」が出演し、会場を盛り上げました。各ブースとも多くの人で賑わいを見せていました。

10月12日から10月25日まで福島県内外11会場において「町政懇談会」を開催いたしました。合計11回開催し、158名の町民の方々にご出席いただきました。

今回の町政懇談会では、まず私からあいさつの中で町の復興に関する取り組み状況について報告した後、各担当課長から特定帰還居住区域復興再生計画や令和6年度町税の課税の方向性などについて説明を行い、町民の皆さんからご質問やご要望、ご意見等をいただきました。町政懇談会で出されたご意見等は、町議会等で内容を報告するとともに、今後の町政運営に生かしてまいります。

10月21日、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故後初めて、町内において、「令和5年双葉町消防団秋季検閲式」が開催されました。渡辺浩美団長以下、県内外の避難先から約40名の消防団員が式に臨み、石橋清則技術分団長の号令のもと、閲団、通常点検などを行いました。地域の安全安心を守るため、自らの規律保持と士気高揚を図る消防団の姿を目の当たりにし、大変頼もしく感じたところです。

昨年8月に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、住民帰還・居住に当た

り、地域の防災力強化が重要となることから、引き続き、関係機関と連携して消防力の向上に取り組んでまいります。

10月21日、幼稚園、小・中学校による合同文化祭「梅檀祭（せんだんさい）」が、町立学校体育館において、来賓と多くの保護者の方々の来場により開催されました。園児・小学生による劇や演奏、中学生は、「再興 ～想いと願いと体験と～」と題し、9月に実施した町内での職場体験で感じたことについて発表しました。また、小学4年生から中学3年生は、標葉せんだん太鼓保存会の皆さんからご指導をいただいた、せんだん太鼓を披露するなど、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

10月21日、相馬市の相馬光陽ソフトボール場において、「第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会」が開催されました。双葉町チームは須賀川市チームと対戦しました。残念ながら初戦敗退となりましたが、選手の皆さんは最後まで粘り強くプレーされていました。

10月31日、中野地区復興産業拠点への立地する大和ライフネクスト株式会社と企業立地協定締結式を行いました。これによりまして、合計21件の立地協定締結となりました。

11月3日、双葉町役場庁舎において「双葉町表彰式」を開催いたしました。式では、永年勤続表彰として2名の方、感謝状として2団体及び2名の方を表彰し、表彰状と記念品をお贈りしました。

表彰を受けられた方々には、これまで地方自治行政の進展や消防活動、並びに双葉町民への支援に貢献されましたことに対して、心から感謝の意を申し上げるとともに、双葉町の復興・復旧に向けた諸課題への対応に、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げた次第です。

11月8日、双葉町産業交流センターにおいて、「双葉郡戦没者追悼式」を開催いたしました。先の大戦でお亡くなりになられた双葉郡の2,400余柱に対し、ご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の生活の安寧と世界の恒久平和を願いました。

1 1月8日の朝、新山字蓬田地内の旧双葉町役場庁舎の北東側にある町道を、親子の熊とみられる2頭が横断するのを除草作業中の作業員が目撃しました。

これを受けて、警察によるパトカーでの警戒活動や注意喚起を行い、町では防災無線での放送を行うとともに、町公式ホームページによる注意喚起などを行っております。

その後、目撃情報は寄せられていませんが、引き続き町民の皆さんには、外出の際には十分ご注意くださいとさせていただきますようお願いするとともに、町内で熊を目撃された場合は、警察または町役場までご一報いただきますようお願いいたします。

1 1月12日、いわき市勿来市民会館において、勿来地区文化協会主催による「勿来地区総合芸能祭」が開催され、双葉町からは「コーラスふたば」、「標葉せんだん太鼓保存会」、「JAスマイル大正琴」、「双葉町民謡同好会」の4団体の皆さんが出演し、勿来地区の皆さんとの文化交流を図りました。

1 1月19日、「第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が開催されました。白河市総合運動公園から福島県庁までの96.3km16区間で健脚を競いました。双葉町選手団は、大会前に2回にわたる合宿を行い、チームワークを高め、心を一つにし、3年ぶりとなるフルエントリーでの大会に臨み、最後まで完走しました。選手の頑張りや、町民の皆さんに、元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援いただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

1 1月21日から、双葉町診療所においてオンライン服薬指導実証事業を始めました。これは、町診療所で医師の診察を受けた患者が専用端末を通じて薬剤師から服薬指導を受け、後日配送で処方薬を自宅で受け取ることができる福島県内で初めての取り組みで、医療環境の充実と町民の利便性向上が期待されております。実証事業は今年度末までの予定で、院外処方の実現に向けた有用性評価と課題抽出を行います。